

あすなる新聞

B L 研究所
078-334-0624

- ◆ 全体を考える健康法
- ◆ タカダイオンについて
- ◆ みどりのお米について

やっと三十号目の「あすなる新聞」になりました。

引き続きご愛読をお願いします。

「全体を考える健康法」

いろんな健康法があります。情報が多すぎてなにかが本当のことか、かえって判らなくなってしまうか、ではどう考えればよいのかを考えてみます。

戦後急速に増加した疾病は血管病です。癌も脳疾患も心臓疾患も、糖尿病も、ありとあらゆる慢性的疾病の大部分は血管に起因する病なのです。

部分的に血行不足が生じたところの機能が退行現象を起こしているのです。

こうした慢性疾患は現代病です。というよりも都会的疾患であるといえます。高度だけれどいびつに発達した社会の固有な病なのです。

その証拠にアフリカの奥地や経済後進地域には三大疾病は非常に少ないのです。ところがアフリカでさえ都会になるとこうした現代的疾病が増加しています。

ハワイに移住した日系人の健康調査もあります。初代にはこうした疾病はなく、二代目で増加し三代目に

など白人と同じ肥満、心臓病、癌などに罹患しています。

なにが変わったのか、なにが血管の状態を悪くしたのか。

戦後日本のなにかが変わったかといえば食の大きな変化です。牛乳、肉食、白砂糖などの大量消費は身体に対する大きな衝撃を与えたはずで、伝統食を一気に捨てて食を西欧化させた民族は稀有で、世界的に栄養学者の注目を集めているのが日本なのです。日本全体が一大疫学調査地域になっているようなものです。

とあれすでに結論は出ています。日本に限らず伝統食を捨てた民族は慢性疾患に次々と罹患しています。お隣の中国も漢方五千年の知恵などと威張ってはいられません。いとも簡単に肉食を十年で倍増させ現代病はすでに蔓延しています。すでに癌が死因のトップになっているのです。

肉食は高脂肪食であり低繊維食です。繊維がすくなく脂肪はほとんど吸収されてしまいます。摂取した脂肪は血中をさまよい高脂血症、身体各部の血管で詰まり始め動脈硬化、血栓となり血圧は高くなります。局部的か全体的な血行不良を起こします。肝臓は多すぎる脂肪から全身を

救うために脂肪を溜め込もうとします、脂肪肝です。加えてじっと動かない仕事に従事し、普段も自動車で歩きません。身体的動きが血液や体液全体を流れさせます。動かなければ唯一動きのある心臓に負担をかけます。さらに現代的ストレスが直撃します。肝臓自身がストレスに対応してたくさん脂肪を合成します。ではどうするのか。高脂肪食や食べすぎを改めることでしょうか。ウオーキングに精を出すことでしょうか。

真つ先に必要なことは「自分は病的である。」と自覚することが必要なのです。四十年前のこと。すでに「一億総半病人」といわれていたのです。現代は全ての人が病的なのです。その病的な泥底から三万人以上の自殺者、底知れぬうつ病患者数が増加しているのです。これだけの近代的医療があるのにがんによる死亡者数も三十年前の倍以上になっています。(癌で亡くなったのか抗がん剤で亡くなったのか・・・癌患者の80%は抗がん剤などの過剰な治療で死んでいるという話もあります。1985年アメリカの国立癌研究所の所長が「抗がん剤は効かない」と断言しています。)

この世の中はつながっていますか

「いや、わたしは健康ですが・・・。」という他者と分離させた私意識こそが病的なのだ、と自覚することから始まるのです。

隣の肝臓が病んでいるときに俺は元気だよ、と胃がもりもり食べようとする。この胃は健全でしょうか。胃がもりもり食べるほど肝臓は迷惑を受けいよいよ病んでいきます。

さまざまな考え方のなかに病的な沈殿物が潜んでいます。野菜が少ない、じゃあサプリメントだ。頭痛がする、頭痛薬を飲もう。便秘だ、じゃあ下剤。高脂血症になった、血液サラサラの薬だ。腰痛だ、ホレ痛み止めだ。癌になった、じゃあ切ろう、叩こう、灼こう。

最初の流れから癌の間には本当はかなり質的違いがあるのですが、いとも簡単に平然とジャンプする人が多いのです。

いのちに対する考え方が病的なのです。自分自身が自分の命に対して病的な驕りがいいのか、点検するところから全ては始まるのではないのでしょうか。

この世の中はつながっていますか

朗読劇「憲法は守りたいけれど・・・、口下手なあなたに」

公演 二月二十二日

当研究所がこの劇を企画したわけを書きます。

研究所は「健康づくり」が大きなテーマになっていきます。

健康づくりというものを大きく捉えますと「環境との健全なつながり」が必須です。環境には自然環境、社会環境、他者との人間関係的環境などがあります。

特に社会人として生きる私達は社会の動向で健康や人生そのものが破壊されたりすることがあります。

戦争はその最たるものではないでしょうか。

大不況は始まったばかりです。こういう時代こそ戦争への足音が近づいてくるのです。不況は軍需産業で乗り切ることがこれまでの歴史であったからです。

戦争は最大の健康破壊です。人が健康に生きるための条件は平和であるということです。

日本の憲法は平和な世の中を築こうとする精神があり、それは健康づくりのわたしのテーマとも一致するのです。

当日は午前中は特別講演として「身体から心の声を知る方法」もお話します。

当日は日ごろからのご愛顧のお礼にはずれ無しの大抽選会も予定しています。

どうか皆様ご参加を呼びかけます。参加費 二千円

場所

神戸元町私学会館大ホール

時間 9時開場

十時

エゴギョウで「心の形」をワークで作成してから

「心の観察と身体から心の声を知る方法」

心が強すぎて頑張る人は身体が悲鳴をあげます。心と症状の関係などを顔診法も取り上げながらわかりやすくお話します。

十二時 休憩

一時 エゴギョウ続き

つながることがこれからのキーワードです。人とつながるほど強くなれます。どうすれば人とつながれるのでしょうか。

休憩

朗読劇 二時開始

二十四名の熟演です。

四時 ピアノスライドショー

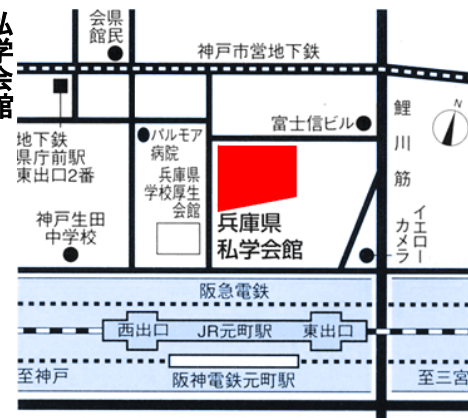
シヨパンなどの名曲を演奏

抽選会

五時終了

研究所秘蔵の秘宝がたくさん(秘蔵II売れ残りじゃない)、お米半分、酸素カプセル五回利用権などハズレなし

JR・阪神元町駅西口下車



私学会館 電話078-334-6623

もう一つ大切な催しがあります

あの震災からわたしたちは大きな影響を受けました。

「タカダイオン」について2

②タカダイオンが凄い 当研究所にはタカダイオンという負電荷療法ができる機器があります。加圧酸素カプセルのなかで使用できるようにしています。というのは電子と血行が大いに関係があるからです。

ここから高田薪先生の研究の一端をご紹介します。

高田先生は東邦大学の生理学の教授でした。血清タンパクの研究が専門でした。ある日のこといつものように血液の成分を分析していたところ、いつもとは様相が一変していたのです。全ての人が変化していたのです。なにが起きたのか？環境の変

化しか考えられませんか。そこで原因を究明したところなんと太陽黒点だとわかったのです。黒点が増加していたのです。黒点の増減で人の生理状態が変化していたのですね。

黒点は11年周期で大きく増減します。今度は2012年が最大になる時期です。

黒点が増えるると人は良くも悪しくも活性化するようです。景気にも関係するといわれています。

黒点が増加すると地表に中性子がたくさん降り注ぎます。中性子が人体を貫通するときに電子が発生します。発生した電子を血清たんぱくであるガンマグロブリン2が吸着して活性化して血流に乗り細胞に電子を供給して回ります。ガンマグロブリン2とは電子を乗せるタクシーのような存在であることを高田先生が発見したわけです。

異常な状態になっている細胞はプラス帯電しています。マイナスに帯電した電子はそこを標的にして優先的に供給されます。電子の補給を受けた細胞は正常なマイナス帯電となり細胞内外のイオン交換が円滑にできるようになり正常化するわけです。こうした効果をカチオン効果といいます。

黒点が増加することで健康になる人が多くなる理由です。

高田先生は科学者ですからデータを取得するためにはふらつきのある黒点に依存するわけにはいかないのです。ある装置を作りました。

ボタンを切り替えるだけで身体に

定量の電子を送り込んだりプラスイオンを送り込む装置です。

その結果わかったことはマイナスに帯電した電子を送り込んだときは多くの患者が「よく眠れる、痛みが少なくなった、からだに楽になった。」と感じ、プラスイオンのときは「気分が悪い、痛みがひどい。」というのです。

このとき高田先生は偶然ながら「これは治療器になる。」と思われたのです。

その後広島に原爆が投下されました。その三日後に高田、広藤両先生がタカダイオンを被災地に運んで治療を試みました。

新型爆弾は原爆であろうと推測されていきましたので、放射線障害に対して効果も見込まれていたので、実際にタカダイオンで手当てすると原爆症である白血球減少やケロイド、脱毛などが改善されたのです。

強度の放射線に瞬間的に曝されたとき体内の分子を結合させている電子が吹き飛び（電離）組織は瞬時に崩れてゆきます。タカダイオンによって多量の電子を供給してやると分子結合が強固になり身体は守られるからです。

戦後になって高田先生は米軍の協力で何度もB-29に搭乗し成層圏を飛び中性子と人体の研究をされています。

同時にいくつもの病院で広藤先生と共にタカダイオンの臨床研究を繰り返され圧倒的な数の症例改善のデータを取りました。

電子治療器としては戦後始めて医療機器の認可を取りました。ところがこのときに問題が起きました。その後、他メーカーの電気治療器もタカダイオンと同種のものとしてタカダイオンの臨床事例を引用して認可されてしまったのです。当時の厚生省の医療機器審議官の無知があったからです。

実際にはタカダイオンは直流方式でほとんどのメーカーは交流方式です。大変な違いがここで生まれます。交流ではマイナスとプラスを交互に送るためにマイナス電子の効果は相殺されてしまい、電子の効果はありません。

ただ、電界に身体を横たえることで体液の性状を弱アルカリに一時的に変化させる効果があるかと思える程度なのです。

④ 一万数千例にのぼる臨床データ
広藤先生・高田先生の学術論文を本にしたものがあります。

わかったことはこの論文が元になつてさまざまな商品が説明されていたということなのです。まるで違った構造で作られたものなのです。

題名は「電子負荷療法の実際とメカニズム」学芸社というものです。

ここに高田薪先生の開発された「タカダイオン」について詳しくご

紹介しましょう。

では、その本の一文をご紹介します。

まえがき

電子によって、なぜ難知性を含む様々な疾患が改善されたり治癒もするのであるのか。これは治療医学の不思議な問題であつて、これを追及することは生理学はもちろん、医学の発展に貢献するものであると信じるのである。

この書では電子を生体に与える負電荷負荷器（高田式）が発明された経緯と、識学者により研究されたデータを収録して、なにゆえ電子が疾患の改善に作用しうるかを記述したいと思つてゐる。

はじめに

今日使用されているのは低周波療法とイオントフォーレゼであるが、これらはいずれも電流治療であり局所療法であつて全身的に応用して効果を得ることができないのである。

本書で述べようとする電子負荷療法とは全く異なつた種類の電気療法なのである。

すなわち、ある電位を負荷しながら全身に電子を与えるのであるから、無感覚のうちに種々な病が細胞とか組織より改善されて種々な効果、作用が現れるので、使用者より体質改善療法とか自然治癒促進療法であるといわれるようになったのである。

引用終了
では、タカダイオンがどのような

効果があるのかを見てみましょう。

④豊富な臨床事例データから

終戦直後のある劇的な事例でした。喘息のひどい少女がいて、その少女の顔は青膨れして無残な状態でした。

高田先生はその少女に毎日負電荷チャージをしたところ、一ヶ月で青膨れがなくなり、血色と肌つやが良くなり、なんとうりざね顔のとてもない美人だつたことがわかり、本人も先生自身もビックリしたそうです。全治60日だつたそうです。

それ以来負電荷チャージをしながら美容との関係を詳しく観察され、その結果素晴らしい美容と若返りの効果があることを実証されました。美容と若返り効果

① 肌に水分がもどり、ツヤがよみがえり、小じわやシミ、そばかすも目立たなくなる。にきびや吹き出物、ハタケ、白斑も治る。手や顔のイボが知らない間に消えてなくなる。
② つめの色がよくなり爪の縦線もいつのまにか無くなる。

③ 白髪が減り、髪にツヤがでる。円形脱毛は治るがはげにあまり効果がない。

④ 白内障の進行が遅くなる。声がよくなる。眼が澄む。

⑤ 下記は従来の痩身エステに加え負電荷を併用したときのデータです。

太股 8%
ひざ 7%

ふくらはぎ ウエスト 体重 6%
胃周 腹部 5%
ヒップ 4%
足首 35%
%は減少率です。
広藤達夫 ブリアント研究所提供
症例1花粉アレルギーと肺結核
23歳女性

入院室にゆりの花が生けてあり、
高度な鼻水とクシャミを併発した。
ゆりを取り除いてタカダイオンにて
負電荷を300mVを60分で20
回行った。

翌日、ゆりの花を病室に運び入れ
たがまったく反応が起きなかった。
タカダとは東邦大学の生理学教授
であった高田蒔先生に由来します。
戦後初めて電子治療器を研究の途上
から偶然に開発され、同時に医療機
器として認可された第一号です。

また、その豊富な臨床データの
存在するものは今日まで他にありま
せん。

多くの医療機器は「タカダイオン」
の臨床データを引用しているに過
ぎないのです。「タカダイオン」とは
全く構造も機能も違うのにデータ
だけを引用したのです。

今日さまざまな治療器があります
がその効果の有り無しをめぐって混
乱しているのは、こうしたデータ
の引用があるからです。

「タカダイオン」以外は独自に臨床
データをとっていないのです。

例を挙げると「マイナスイオン」効
果をうたったものです。

このマイナスイオン効果ほど誤解を
生んでいるものは他にはないので
ないでしょうか。

「マイナスイオン」とはなにか
マイナスに帯電したものと意味
ですが、これは自由電子のことを意
味します。φマイナスのことでエレ
クトロンです。

マイナスイオンとは商業的な流行
語であり、科学的には電子のことで
す。

そこで電子はマイナスに帯電してい
るので、これからは負電荷療法と表
現します。

「電子を与える(チャージ)」

負電荷療法とは電子のみを体内に一
定量を供給しプラスに帯電した粒子
はアースして外へ流します。

交流方式の治療器はマイナスもプ
ラスも交互に体内に流しますから全
体として中和され電子供給の効果は
ありません。ですから「タカダイオ
ン」は直流方式で負電荷のみが体内
に注ぎ込まれます。

病変を起こしている組織ではプラ
スに帯電しているのがマイナスに帯
電している電子はそこを優先的に目
指して流れて行き、その組織を中和
し正常に導きます。

犬用「もったいな米」発売

「みどりのお米」は値上げしないで
頑張ってきました。

そろそろ限界? になってきて妙案
が浮かびました。

「もったいな米(まい)」の販売です。

このお米はいわゆるクズ米です。
「みどりのお米」を風で選別したと
きに飛んでしまったお米です。これ
が約五割ありそのうち二割は家畜飼
料です。三割はおせんべいなどの米
菓子に使用されます。これを高く買
い取ることで本体である「みどりの
お米」は値上げしやすむわけ
です。

食味はいままでの「みどりのお米」
に比べてより小さいですが美味しい
です。時々カルシウム粒がありガリ
ツとしたり、もみも多いですが洗っ
て流していただければ味は美味しい
のです。

犬に「みどりのお米」を食べさせる
人が増えました。これなら安い
のもりもりと食べてもらえるのでは
ないでしょうか。

最近血液検査してもらったワンチ
ゃんがいます。獣医さんも驚くくら
いにきれいな血であったそうです。
しつかり「みどりのお米」を食べ
ていたので。

大不況になっていますが、食糧事情
も安心できません。余分にご注文
いただき備蓄米としておいておくの
も手です。

価格は送料などもかかりますので場
所によって一キログラム273円か
ら300円程度です。

検討したい方は「みどりのお米」と
混合して炊くこともお勧めです。

阪神淡路大震災・鎮魂の儀

「ヴィーナス 女神たちの目覚め」

2009年一月十七日

会場 神戸市立生田文化会館

開演 15時 終演20時

出演者 Aika (歌手・サウンド

セラピスト)

きくちゆみ (平和活動家)

はせくらみゆき (画家)

テオドーラ里香 (画家)

and more

入場料 2999円

収益金はあしなが育英会・EMOT

OPPEACE PROJECT・

UNICEFに寄付させていただきます。

主催 遠藤行

電話090-9612-3849

Eメール yukiyuki-03

071@ezweb.ne.jp

二月22日朗読劇と合わせて皆様の

ご参加をお待ちしています。

二月14日土曜日

根っこ塾主催

「てんつくまん」のドキュメンタリ

ー上映会と

今年度の根っこ塾の内容説明会

詳しくはブログで

私のブログのご紹介

変才先生、で検索。あすなる日記が

出ます。それをクリックすると開き

ます。

記事は600を超え左のカレンダー

の上の年号のひだりがわの矢印をク

リックすると過去の記事も開きます。